

様式 C－26

「繰越（翌債）を必要とする理由書」

【記載例】

繰 越（翌 債）を 必 要 と す る 理 由 書

機関番号： 11111 研究機関名：××××大学 研究代表者名：文科 花子
課題番号： 24123456 平成24年度補助金交付額： 13,000,000 円（内訳：直接経費 10,000,000 円・間接経費 3,000,000 円）
繰越（翌債）承認要求額： 2,600,000 円（内訳：直接経費 2,000,000 円・間接経費 600,000 円）
※一部基金分のみ記入【補助事業に要する経費（H24）： 円（内訳：直接経費 円・間接経費 円）】
研究種目： 基盤研究(A) 研究課題名： ○○に関する研究 研究 24 年度 ～ 27 年度
期間

当初計画及び変更後の計画		当初の研究計画	
＜当初計画＞ H24.4 ○○手法のモデル化 H24.5 ↓ H24.6 ↓ H24.7 △△△オペレータの作成 H24.8 ↓ H24.9 試作システムの構築 H24.10 症例への適用と検証実験 H24.11 ↓ H24.12 ↓ H25.1 △△△オペレータの改良・確定 H25.2 追加検証実験 H25.3 研究成果取りまとめ	＜変更後の計画＞ H24.4 ○○手法のモデル化 H24.5 ↓ H24.6 ↓ H24.7 △△△オペレータの作成 H24.8 ↓ H24.9 試作システムの構築 H24.10 症例への適用と検証実験 H24.11 △△△オペレータの修正 H24.12 試作システムの構築 H25.1 症例への適用と検証実験 H25.2 ↓ H25.3 ↓ H25.4 △△△オペレータの改良・確定 H25.5 追加検証実験 H25.6 研究成果取りまとめ H25.7 H25.8 H25.9 H25.10 H25.11 H25.12 H26.1 H26.2 H26.3	(研究概要) ※＜当初計画＞に即して、最終的に平成25年3月までに達成予定であった計画を時系列で記述すること。 平成24年9月までに、 ○○手法のモデル化と自動診断向けの△△△オペレータの作成と試作システムの構築を図り、 平成25年3月までに、 検証実験とその結果を踏まえた△△△オペレータの改良・確定と追加の検証実験を行い、研究成果を取りまとめる予定であった。	
		事 由	
		記号等 ①エ 計画に関する諸条件（計画の変更）	
繰越事由の発生した時期 平成24年10月	補助事業の完了時期 平成25年6月末（3ヶ月延長）	【変更後の計画の類型】	（補足説明） 平成24年10月、画像の画素値が予測と異なり不安定だと判明したため、△△△オペレータの中に画素値の補正を自動的に行う機能を追加する必要が生じた。
		調査・実験等のやり直し・再検討	

繰 越（翌 債）を 必 要 と す る 理 由 書

機関番号： 21111 研究機関名：△△県立××××大学 研究代表者名：文科 花子
課題番号： 24123456 平成24年度補助金交付額： 13,000,000 円（内訳：直接経費 10,000,000 円・間接経費 3,000,000 円）
繰越（翌債）承認要求額： 2,600,000 円（内訳：直接経費 2,000,000 円・間接経費 600,000 円）
※一部基金分のみ記入【補助事業に要する経費（H24）： 円（内訳：直接経費 円・間接経費 円）】
研究種目： 基盤研究(A) 研究課題名： ○○に関する研究 研究 24 年度 ～ 27 年度
期間

当初計画及び変更後の計画		当初の研究計画	
＜当初計画＞ H24.4 事前準備 H24.5 ○○○開花調査 H24.6 ↓ H24.7 ↓ H24.8 ↓ H24.9 ○○○結実調査 H24.10 ↓ H24.11 ↓ H24.12 ↓ H25.1 ↓ H25.2 ↓ H25.3 研究成果取りまとめ	＜変更後の計画＞ H24.4 事前準備 H24.5 ○○○開花調査 H24.6 ↓ H24.7 ↓ H24.8 ↓ H24.9 ○○○結実調査 H24.10 人工交配種子採取 H24.11 交配種子精選 H24.12 ↓ H25.1 □□時期調査 H25.2 △△△時期調査 H25.3 ↓ H25.4 ◇◇◇◇調査 H25.5 ↓ H25.6 研究成果取りまとめ H25.7 H25.8 H25.9 H25.10 H25.11 H25.12 H26.1 H26.2 H26.3	(研究概要) ※＜当初計画＞に即して、最終的に平成25年3月までに達成予定であった計画を時系列で記述すること。 平成25年2月までに、 ○○○の結実調査を行い、 平成25年3月までに、 研究成果を取りまとめる 予定であった。	
		事 由	
		記号等 ①キ 計画に関する諸条件（新たな知見の発見）	
繰越事由の発生した時期 平成24年10月	補助事業の完了時期 平成25年6月末（3ヶ月延長）	【変更後の計画の類型】	（補足説明） 平成24年10月、世界的にみても例がない、貴重な材料である交配種子が作出されたことから、優先してこれらの採取、□□時期、△△△時期後の◇◇◇◇調査等を行うことが必要となった。
		追加調査・実験等	

様 式 C-26

繰越（翌債）を必要とする理由書

機関番号： 31111 研究機関名：△△△大学 研究代表者名：文科 花子
課題番号： 24123456 平成24年度補助金交付額： 13,000,000 円（内訳：直接経費 10,000,000 円・間接経費 3,000,000 円）
繰越（翌債）承認要求額： 2,600,000 円（内訳：直接経費 2,000,000 円・間接経費 600,000 円）
※一部基金分のみ記入【補助事業に要する経費（H24）： 円（内訳：直接経費 円・間接経費 円）】
研究種目： 基盤研究(A) 研究課題名： ○○に関する研究 研究期間 24 年度 ～ 27 年度

当初計画及び変更後の計画		当初の研究計画	
＜当初計画＞ H24.4 事前準備 H24.5 既存試料の予察分析 H24.6 野外調査、試料採集 H24.7 採集試料の予察分析 H24.8 ↓ H24.9 ↓ H24.10 ○○○○の本格分析 H24.11 ↓ H24.12 ↓ H25.1 ↓ H25.2 ↓ H25.3 分析結果の取りまとめ 繰越事由の発生した時期 平成24年8月	＜変更後の計画＞ H24.4 事前準備 H24.5 既存試料の予察分析 H24.6 野外調査、試料採集 H24.7 採集試料の予察分析 H24.8 研究協力者の確保 H24.9 ↓ H24.10 ↓ H24.11 ↓ H24.12 ↓ H25.1 ○○○○の本格分析 H25.2 ↓ H25.3 ↓ H25.4 ↓ H25.5 ↓ H25.6 分析結果の取りまとめ H25.7 H25.8 H25.9 H25.10 H25.11 H25.12 H26.1 H26.2 H26.3 補助事業の完了時期 平成25年6月末（3ヶ月延長）	(研究概要)	
		※＜当初計画＞に即して、最終的に平成25年3月までに達成予定であった計画を時系列で記述すること。 平成24年9月までに、 野外調査、試料採集を終え、採集試料の予察分析を実施し、 平成25年3月までに、 ○○○○の本格分析を行い、分析結果を取りまとめる 予定であった。	
		事 由	
		記号等 ①キ 計画に関する諸条件（研究協力者の確保難）	

様 式 C-26

繰越（翌債）を必要とする理由書

機関番号： 61111 研究機関名：×××大学 研究代表者名：文科 花子
課題番号： 24123456 平成24年度補助金交付額： 4,290,000 円（内訳：直接経費 3,300,000 円・間接経費 990,000 円）
繰越（翌債）承認要求額： 390,000 円（内訳：直接経費 300,000 円・間接経費 90,000 円）
※一部基金分のみ記入【補助事業に要する経費（H24）： 7,150,000 円（内訳：直接経費 5,500,000 円・間接経費 1,650,000 円）】
研究種目： 若手研究(A) 研究課題名： ○○に関する研究 研究期間 24 年度 ～ 27 年度

当初計画及び変更後の計画		当初の研究計画	
＜当初計画＞ H24.4 事前準備 H24.5 ↓ H24.6 ↓ H24.7 研究会開催 H24.8 比較法的研究調査① H24.9 ↓ H24.10 ↓ H24.11 ↓ H24.12 比較法的研究調査②③ H25.1 ↓ H25.2 ↓ H25.3 ↓ 繰越事由の発生した時期 平成24年7月	＜変更後の計画＞ H24.4 事前準備 H24.5 ↓ H24.6 ↓ H24.7 ↓ H24.8 ↓ H24.9 研究会開催 H24.10 比較法的研究調査① H24.11 ↓ H24.12 ↓ H25.1 ↓ H25.2 比較法的研究調査②③ H25.3 ↓ H25.4 ↓ H25.5 ↓ H25.6 H25.7 H25.8 H25.9 H25.10 H25.11 H25.12 H26.1 H26.2 H26.3 補助事業の完了時期 平成25年5月末（2ヶ月延長）	（研究概要） ※＜当初計画＞に即して、最終的に平成25年3月までに達成予定であった計画を時系列で記述すること。 平成24年11月までに、 研究会を開催し、比較法的研究調査①を実施し、 平成25年3月までに、 比較法的研究調査②③を完了する 予定であった。	
		事 由	
		記号等 ①キ 計画に関する諸条件（研究協力者の事情）	
		【変更後の計画の類型】	（補足説明）
		調査時期等の延期・変更	平成24年7月、開催予定であった研究会で講演を予定していた招聘者（海外の研究協力者）が、急遽参加できなくなり、当該講演内容は本研究にとって重要であるため、研究会を延期する必要が生じた。

様 式 C-26

繰越（翌債）を必要とする理由書

機関番号： 71111 研究機関名：×××研究所 研究代表者名：文科 花子
課題番号： 24123456 平成24年度補助金交付額： 13,000,000 円（内訳：直接経費 10,000,000 円・間接経費 3,000,000 円）
繰越（翌債）承認要求額： 2,600,000 円（内訳：直接経費 2,000,000 円・間接経費 600,000 円）
※一部基金分のみ記入【補助事業に要する経費（H24）： 円（内訳：直接経費 円・間接経費 円）】
研究種目： 基盤研究(A) 研究課題名： ○○に関する研究 研究期間 24 年度 ～ 27 年度

当初計画及び変更後の計画		当初の研究計画	
<当初計画> H24.4 事前準備 H24.5 ↓ H24.6 ↓ H24.7 ↓ H24.8 実験準備 H24.9 ↓ H24.10 △△大学との画像データ統合 H24.11 本実験の実施 H24.12 ↓ H25.1 結果の分析 H25.2 ↓ H25.3 研究成果とりまとめ 繰越事由の発生した時期 平成24年10月	<変更後の計画> H24.4 事前準備 H24.5 ↓ H24.6 ↓ H24.7 ↓ H24.8 実験準備 H24.9 ↓ H24.10 ↓ H24.11 ↓ H24.12 ↓ H25.1 △△大学との画像データ統合 H25.2 本実験の実施 H25.3 ↓ H25.4 結果の分析 H25.5 ↓ H25.6 研究成果とりまとめ H25.7 H25.8 H25.9 H25.10 H25.11 H25.12 H26.1 H26.2 H26.3 補助事業の完了時期 平成25年6月末（3ヶ月延長）	(研究概要) ※<当初計画>に即して、最終的に平成25年3月までに達成予定であった計画を時系列で記述すること。 平成24年10月までに、 △△大学との画像データ統合を行い、 平成25年3月までに、 本実験を実施し、結果の分析を行い、研究成果をとりまとめる 予定であった。 事 由 記号等 ①キ 計画に関する諸条件（研究協力機関の事情） 【変更後の計画の類型】 調査・実験等の期間延長	
		(補足説明) 平成24年10月、研究協力機関である△△大学の画像データに不備が見つかり、データ修復に3ヵ月を要したため、遅延が生じた。	

様 式 C-26

繰越（翌債）を必要とする理由書

機関番号： 81111 研究機関名：△△△△機構 研究代表者名：文科 花子
課題番号： 24123456 平成24年度補助金交付額： 13,000,000 円（内訳：直接経費 10,000,000 円・間接経費 3,000,000 円）
繰越（翌債）承認要求額： 2,600,000 円（内訳：直接経費 2,000,000 円・間接経費 600,000 円）
※一部基金分のみ記入【補助事業に要する経費（H24）： 円（内訳：直接経費 円・間接経費 円）】
研究種目： 基盤研究(A) 研究課題名： ○○に関する研究 研究期間 24 年度 ～ 27 年度

当初計画及び変更後の計画		当初の研究計画	
<当初計画> H24.4 事前準備 H24.5 ↓ H24.6 ↓ H24.7 ↓ H24.8 複合動詞についてのデータ整理 H24.9 ↓ H24.10 ↓ H24.11 データの分析 H24.12 ↓ H25.1 ↓ H25.2 ↓ H25.3 学会発表・研究成果とりまとめ 繰越事由の発生した時期 平成24年12月	<変更後の計画> H24.4 事前準備 H24.5 ↓ H24.6 ↓ H24.7 ↓ H24.8 複合動詞についてのデータ整理 H24.9 ↓ H24.10 ↓ H24.11 データの分析 H24.12 ↓ H25.1 ↓ H25.2 ↓ H25.3 ↓ H25.4 ↓ H25.5 ↓ H25.6 学会発表・研究成果とりまとめ H25.7 H25.8 H25.9 H25.10 H25.11 H25.12 H26.1 H26.2 H26.3 補助事業の完了時期 平成25年6月末（3ヶ月延長）	(研究概要) ※<当初計画>に即して、最終的に平成25年3月までに達成予定であった計画を時系列で記述すること。 平成25年2月までに、 複合動詞についてのデータを整理し、その分析を行い 平成25年3月までに、 学会発表及び研究成果とりまとめを行う 予定であった。 事 由 記号等 ①キ 計画に関する諸条件（学会等の事情） 【変更後の計画の類型】 調査時期等の延期・変更	
		(補足説明) 平成25年3月に開催予定であった国際シンポジウムの開催が、主催者である学会の都合により、6月に延期されることが平成24年12月に発表された。	

繰越（翌債）を必要とする理由書

機関番号： 91111 研究機関名：△△△株式会社 研究代表者名：文科 花子
課題番号： 24123456 平成24年度補助金交付額： 13,000,000 円（内訳：直接経費 10,000,000 円・間接経費 3,000,000 円）
繰越（翌債）承認要求額： 2,600,000 円（内訳：直接経費 2,000,000 円・間接経費 600,000 円）
※一部基金分のみ記入【補助事業に要する経費（H24）： 円（内訳：直接経費 円・間接経費 円）】
研究種目： 基盤研究(A) 研究課題名： ○○に関する研究 研究期間 24 年度 ～ 27 年度

当初計画及び変更後の計画		当初の研究計画	
＜当初計画＞ H24.4 理論計算の実施 H24.5 ↓ H24.6 ↓ H24.7 ↓ H24.8 研究論文の提出 H24.9 模型実験の実施 H24.10 ↓ H24.11 ↓ H24.12 ↓ H25.1 実験計算の比較 H25.2 ↓ H25.3 論文発表・研究成果とりまとめ	＜変更後の計画＞ H24.4 理論計算の実施 H24.5 ↓ H24.6 ↓ H24.7 ↓ H24.8 研究論文の提出 H24.9 模型実験の実施 H24.10 ↓ H24.11 ↓ H24.12 ↓ H25.1 実験計算の比較 H25.2 ↓ H25.3 研究成果とりまとめ H25.4 ↓ H25.5 ↓ H25.6 論文発表 H25.7 H25.8 H25.9 H25.10 H25.11 H25.12 H26.1 H26.2 H26.3	(研究概要) ※＜当初計画＞に即して、最終的に平成25年3月までに達成予定であった計画を時系列で記述すること。 平成25年2月までに、 理論計算と模型実験を実施し、その比較を行い、 平成25年3月までに、 論文発表及び研究成果とりまとめを行う 予定であった。	
		事 由	
		記号等 ①キ 計画に関する諸条件（印刷社・出版社の事情）	
		【変更後の計画の類型】	(補足説明) 平成25年3月刊行の論文集への研究成果掲載のため期限内に原稿を提出していたところ、出版社の都合により次号（平成25年6月予定）に延期された。
繰越事由の発生した時期 平成25年2月	補助事業の完了時期 平成25年6月末（3ヶ月延長）	調査時期等の延期・変更	

繰越（翌債）を必要とする理由書

機関番号： 41111 研究機関名：××××短期大学 研究代表者名：文科 花子
課題番号： 24123456 平成24年度補助金交付額： 13,000,000 円（内訳：直接経費 10,000,000 円・間接経費 3,000,000 円）
繰越（翌債）承認要求額： 2,600,000 円（内訳：直接経費 2,000,000 円・間接経費 600,000 円）
※一部基金分のみ記入【補助事業に要する経費（H24）： 円（内訳：直接経費 円・間接経費 円）】
研究種目： 基盤研究(A) 研究課題名： ○○に関する研究 研究期間 24 年度 ～ 27 年度

当初計画及び変更後の計画		当初の研究計画	
＜当初計画＞ H24.4 △△△製作 H24.5 ↓ H24.6 ↓ H24.7 ↓ H24.8 ↓ H24.9 ↓ H24.10 △△△望遠鏡搭載 H24.11 観測・データ解析開始 H24.12 ↓ H25.1 ↓ H25.2 研究成果とりまとめ H25.3 ↓	＜変更後の計画＞ H24.4 △△△製作 H24.5 ↓ H24.6 ↓ H24.7 △△△性能再評価 H24.8 ↓ H24.9 ↓ H24.10 ↓ H24.11 △△△製作（再開） H24.12 ↓ H25.1 △△△望遠鏡搭載 H25.2 観測・データ解析開始 H25.3 ↓ H25.4 ↓ H25.5 研究成果とりまとめ H25.6 ↓ H25.7 H25.8 H25.9 H25.10 H25.11 H25.12 H26.1 H26.2 H26.3	(研究概要) ※＜当初計画＞に即して、最終的に平成25年3月までに達成予定であった計画を時系列で記述すること。 平成24年10月までに、 △△△を望遠鏡に搭載し、 平成25年3月までに、 観測・データ解析を行い、研究成果をとりまとめる 予定であった。	
		事 由	
		記号等 ①キ 計画に関する諸条件（装置の開発遅延）	
		【変更後の計画の類型】	(補足説明) 平成24年7月、望遠鏡に搭載予定の△△△の製作過程で不具合があることが判明した。そのため4ヵ月△△△の性能再評価を行い製作を進める必要が生じた。
繰越事由の発生した時期 平成24年7月	補助事業の完了時期 平成25年6月末（3ヶ月延長）	調査・実験等の期間延長	

様 式 C-26

繰越（翌債）を必要とする理由書

機関番号： 51111 研究機関名：○○○○高等専門学校 研究代表者名：文科 花子
課題番号： 24123456 平成24年度補助金交付額： 4,290,000 円（内訳：直接経費 3,300,000 円・間接経費 990,000 円）
繰越（翌債）承認要求額： 390,000 円（内訳：直接経費 300,000 円・間接経費 90,000 円）
※一部基金分のみ記入【補助事業に要する経費（H24）： 7,150,000 円（内訳：直接経費 5,500,000 円・間接経費 1,650,000 円）】
研究種目： 基盤研究(B) 研究課題名： ○○に関する研究 研究期間 24 年度 ～ 27 年度

当初計画及び変更後の計画		当初の研究計画	
＜当初計画＞ H24.4 事前準備 H24.5 ↓ H24.6 ○○内薬物送達評価のモデル構築 H24.7 ↓ H24.8 ↓ H24.9 薬効評価実験 H24.10 ↓ H24.11 ↓ H24.12 ↓ H25.1 研究成果とりまとめ H25.2 新しい実験系の事前準備 H25.3 ↓ 繰越事由の発生した時期 平成24年10月	＜変更後の計画＞ H24.4 事前準備 H24.5 ↓ H24.6 ○○内薬物送達評価のモデル構築 H24.7 ↓ H24.8 ↓ H24.9 薬効評価実験 H24.10 機器の故障・修理 H24.11 ↓ H24.12 ↓ H25.1 薬効評価実験（再開） H25.2 ↓ H25.3 ↓ H25.4 研究成果とりまとめ H25.5 新しい実験系の事前準備 H25.6 ↓ H25.7 H25.8 H25.9 H25.10 H25.11 H25.12 H26.1 H26.2 H26.3 補助事業の完了時期 平成25年6月末（3ヶ月延長）	(研究概要) ※＜当初計画＞に即して、最終的に平成25年3月までに達成予定であった計画を時系列で記述すること。 平成24年12月までに、 薬効評価を終え、 平成25年3月までに、 研究成果のとりまとめを行い、次の実験系の事前準備を行う 予定であった。 事 由 記号等 ①キ 計画に関する諸条件（機器の故障） 【変更後の計画の類型】 調査時期等の延期・変更 (補足説明) 平成24年10月、薬効評価実験に使用する機器に不具合が生じ、修理を行ったため、薬効評価実験を平成25年1月から再開した。	

様 式 C-26

繰越（翌債）を必要とする理由書

機関番号： 12111 研究機関名：××××大学 研究代表者名：文科 花子
課題番号： 24123456 平成24年度補助金交付額： 13,000,000 円（内訳：直接経費 10,000,000 円・間接経費 3,000,000 円）
繰越（翌債）承認要求額： 2,600,000 円（内訳：直接経費 2,000,000 円・間接経費 600,000 円）
※一部基金分のみ記入【補助事業に要する経費（H24）： 円（内訳：直接経費 円・間接経費 円）】
研究種目： 基盤研究(A) 研究課題名： ○○に関する研究 研究期間 24 年度 ～ 27 年度

当初計画及び変更後の計画		当初の研究計画	
＜当初計画＞ H24.4 事前準備 H24.5 ↓ H24.6 第1次現地調査 H24.7 ↓ H24.8 第1次現地調査の取りまとめ、分析 H24.9 ↓ H24.10 第2次現地調査 H24.11 ↓ H24.12 第2次現地調査の取りまとめ、分析 H25.1 第3次現地調査 H25.2 第3次現地調査の取りまとめ、分析 H25.3 研究成果とりまとめ 繰越事由の発生した時期 平成24年9月	＜変更後の計画＞ H24.4 事前準備 H24.5 ↓ H24.6 第1次現地調査 H24.7 ↓ H24.8 第1次現地調査の取りまとめ、分析 H24.9 ↓ H24.10 ↓ H24.11 ↓ H24.12 第2次現地調査 H25.1 ↓ H25.2 第2次現地調査の取りまとめ、分析 H25.3 第3次現地調査 H25.4 第3次現地調査の取りまとめ、分析 H25.5 研究成果とりまとめ H25.6 H25.7 H25.8 H25.9 H25.10 H25.11 H25.12 H26.1 H26.2 H26.3 補助事業の完了時期 平成25年5月末（2ヶ月延長）	(研究概要) ※＜当初計画＞に即して、最終的に平成25年3月までに達成予定であった計画を時系列で記述すること。 平成24年12月までに、 第2次現地調査の取りまとめ、分析まで行い、 平成25年3月までに、 それらの結果を踏まえ、第3次現地調査を行い、研究成果をまとめる 予定であった。 事 由 記号等 ①キ 計画に関する諸条件（怪我・病气） 【変更後の計画の類型】 調査時期等の延期・変更 (補足説明) 平成24年9月、研究代表者の不測の怪我による手術・入院により、10月～11月の渡航（第2次現地調査）が困難となった。	

様 式 C-26

繰越（翌債）を必要とする理由書

機関番号： 13111 研究機関名：△△大学 研究代表者名：文科 花子
課題番号： 24123456 平成24年度補助金交付額： 13,000,000 円（内訳：直接経費 10,000,000 円・間接経費 3,000,000 円）
繰越（翌債）承認要求額： 2,600,000 円（内訳：直接経費 2,000,000 円・間接経費 600,000 円）
※一部基金分のみ記入【補助事業に要する経費（H24）： 円（内訳：直接経費 円・間接経費 円）】
研究種目： 基盤研究(A) 研究課題名： ○○に関する研究 研究期間 24 年度 ～ 27 年度

当初計画及び変更後の計画		当初の研究計画	
<当初計画> H24.4 △△マウスの交配 H24.5 ↓ H24.6 ↓ H24.7 ↓ H24.8 △△マウス胎児肝細胞移植による××構築・実験 H24.9 ↓ H24.10 ↓ H24.11 ↓ H24.12 ↓ H25.1 ↓ H25.2 ↓ H25.3 実験結果の解析・研究成果とりまとめ	<変更後の計画> H24.4 △△マウスの交配 H24.5 ↓ H24.6 ↓ H24.7 △△マウスの再交配 H24.8 ↓ H24.9 ↓ H24.10 ↓ H24.11 △△マウス胎児肝細胞移植による××構築・実験 H24.12 ↓ H25.1 ↓ H25.2 ↓ H25.3 ↓ H25.4 ↓ H25.5 ↓ H25.6 実験結果の解析・研究成果とりまとめ H25.7 H25.8 H25.9 H25.10 H25.11 H25.12 H26.1 H26.2 H26.3	(研究概要) ※<当初計画>に即して、最終的に平成25年3月までに達成予定であった計画を時系列で記述すること。 平成24年7月までに、 △△マウスの交配を実施し、 平成25年3月までに、 △△マウス胎児肝細胞移植による××構築・実験を行い、研究成果をとりまとめる 予定であった。	
		事 由	
		記号等 ⑥オ 資材の入手難（マウス等実験動物の確保難）	
		【変更後の計画の類型】	(補足説明) 平成24年7月、△△マウスの成育不全などにより胎児の生産が進まず、再度交配が必要となり、移植による構築・実験に用いる胎児確保が遅延した。
		調査・実験等のやり直し・再検討	
繰越事由の発生した時期 平成24年7月	補助事業の完了時期 平成25年6月末（3ヶ月延長）		

様 式 C-26

繰越（翌債）を必要とする理由書

機関番号： 14111 研究機関名：△△大学 研究代表者名：文科 花子
課題番号： 24123456 平成24年度補助金交付額： 13,000,000 円（内訳：直接経費 10,000,000 円・間接経費 3,000,000 円）
繰越（翌債）承認要求額： 2,600,000 円（内訳：直接経費 2,000,000 円・間接経費 600,000 円）
※一部基金分のみ記入【補助事業に要する経費（H24）： 円（内訳：直接経費 円・間接経費 円）】
研究種目： 基盤研究(A) 研究課題名： ○○に関する研究 研究期間 24 年度 ～ 27 年度

当初計画及び変更後の計画		当初の研究計画	
<当初計画> H24.4 スタッフ雇用とトレーニング H24.5 フィールド調査（検体収集含む） H24.6 ↓ H24.7 ↓ H24.8 フィールド調査・検体の△△解析 H24.9 ↓ H24.10 ↓ H24.11 ↓ H24.12 ↓ H25.1 データ解析 H25.2 ↓ H25.3 データ解析・現地報告会	<変更後の計画> H24.4 スタッフ雇用とトレーニング H24.5 フィールド調査（検体収集含む） H24.6 ↓ H24.7 ↓ H24.8 ↓ H24.9 ↓ H24.10 ↓ H24.11 フィールド調査・検体の△△解析 H24.12 ↓ H25.1 ↓ H25.2 ↓ H25.3 ↓ H25.4 データ解析 H25.5 ↓ H25.6 データ解析・現地報告会 H25.7 H25.8 H25.9 H25.10 H25.11 H25.12 H26.1 H26.2 H26.3	(研究概要) ※<当初計画>に即して、最終的に平成25年3月までに達成予定であった計画を時系列で記述すること。 平成24年12月までに、 フィールド調査により検体を収集し、△△解析を終了し、 平成25年3月までに、 データを解析し。現地報告会を開催する 予定であった。	
		事 由	
		記号等 ⑥オ 資材の入手難（資材及び資料の入手難）	
		【変更後の計画の類型】	(補足説明) 症例が発生する時期が例年より遅れ、検体収集に予想以上の時間を要した。
		調査・実験等の期間延長	
繰越事由の発生した時期 平成24年8月	補助事業の完了時期 平成25年6月末（3ヶ月延長）		

機関番号： 15111
課題番号： 24123456

繰越（翌債）を必要とする理由書

研究機関名: ××××大学

研究代表者名：文科 花子

平成24年度補助金交付額:	13,000,000 円	(内訳:直接経費	10,000,000 円	・間接経費	3,000,000 円)
繰越(翌償)承認要求額:	2,600,000 円	(内訳:直接経費	2,000,000 円	・間接経費	600,000 円)
※一部基金分のみ記入【補助事業に要する経費 (H24):					
		円	(内訳:直接経費	円	・間接経費
					円)

研究種目： 基盤研究(A)

研究課題名： ○○に関する研究

研究期間 24 年度 ～ 27 年度

当初計画及び変更後の計画		当初の研究計画	
＜当初計画＞ H24.4 ○○発現解析の予備実験 H24.5 ↓ H24.6 ↓ H24.7 ○○発現解析の本実験 H24.8 ↓ H24.9 ↓ H24.10 ↓ H24.11 ↓ H24.12 ↓ H25.1 実験結果の解析 H25.2 ↓ H25.3 研究成果とりまとめ	＜変更後の計画＞ H24.4 ○○発現解析の予備実験 H24.5 ↓ H24.6 ↓ H24.7 △△試料解析のための予備実験 H24.8 ↓ H24.9 △△試料の準備・調整 H24.10 ↓ H24.11 ↓ H24.12 ↓ H25.1 ○○発現解析の本実験 H25.2 ↓ H25.3 ↓ H25.4 ↓ H25.5 ↓ H25.6 ↓ H25.7 実験結果の解析 H25.8 ↓ H25.9 研究成果とりまとめ H25.10 H25.11 H25.12 H26.1 H26.2 H26.3	(研究概要) ※＜当初計画＞に即して、最終的に平成25年3月までに達成予定であった計画を時系列で記述すること。 平成24年12月までに、 ○○発現解析のための一連の実験を実施し、 平成25年3月までに、 その結果の解析を行い、研究成果をとりまとめる 予定であった。	
		事 由	
		記号等 ⑦ア 研究に際しての事前調査の困難	
		【変更後の計画の類型】	(補足説明) 平成24年7月、○○発現解析の予備実験の結果、当初予定していたものより更に△△な試料を調整し、解析しなければ、目的とする発現の変動を調べることができなことが判明した。
繰越事由の発生した時期	補助事業の完了時期	追加調査・実験等	
平成24年7月	平成25年9月末（6ヶ月延長）		

様式 C-26

機関番号： 16111
課題番号： 24123456

繰越（翌債）を必要とする理由書

研究機関名：××××大学

研究代表者名：文科 花子

平成24年度補助金交付額:	13,000,000 円	(内訳:直接経費	10,000,000 円	・間接経費	3,000,000 円)
繰越(翌債)承認要求額:	2,600,000 円	(内訳:直接経費	2,000,000 円	・間接経費	600,000 円)

※一部基金分のみ記入【補助事業に要する経費 (H24):

	円	(内訳:直接経費	円	・間接経費	円)
--	---	----------	---	-------	----

研究種目： 基盤研究(A)

研究課題名： ○○に関する研究

研究期間 24 年度 ～ 27 年度

当初計画及び変更後の計画		当初の研究計画	
＜当初計画＞ H24.4 プログラム内容の検討・確定 H24.5 ↓ H24.6 ↓ H24.7 ↓ H24.8 △△に用いる教材類の検討・製作 H24.9 フィールド調査 H24.10 プレテスト H24.11 ↓ H24.12 研究倫理審査申請 H25.1 研究倫理審査承認 H25.2 データ収集 H25.3 ↓	＜変更後の計画＞ H24.4 プログラム内容の検討・確定 H24.5 ↓ H24.6 ↓ H24.7 ↓ H24.8 ↓ H24.9 ↓ H24.10 △△に用いる教材類の検討・製作 H24.11 ↓ H24.12 ↓ H25.1 ↓ H25.2 ↓ H25.3 フィールド調査 H25.4 プレテスト H25.5 ↓ H25.6 研究倫理審査申請 H25.7 研究倫理審査承認 H25.8 データ収集 H25.9 ↓ H25.10 H25.11 H25.12 H26.1 H26.2 H26.3	(研究概要) ※＜当初計画＞に即して、最終的に平成25年3月までに達成予定であった計画を時系列で記述すること。 平成24年8月までに、 △△に用いる教材類の製作を終え、 平成25年3月までに、 フィールド調査、研究倫理審査を承認を得てデータ収集を行う 予定であった。	
		事 由	
		記号等 ⑦イ 研究方式の決定の困難	
		【変更後の計画の類型】	(補足説明) 新たなエビデンスの報告があり、これをプログラムに加味することのメリットの検討及びそれらを踏まえた教材類の製作に時間を要し、計画が遅延した。
繰越事由の発生した時期 平成24年7月	補助事業の完了時期 平成25年9月末（6ヶ月延長）	調査・実験等の期間延長	

繰越（翌債）を必要とする理由書

機関番号： 17111 研究機関名：○○○○大学 研究代表者名：文科 花子
課題番号： 24123456 平成24年度補助金交付額： 13,000,000 円（内訳：直接経費 10,000,000 円・間接経費 3,000,000 円）
繰越（翌債）承認要求額： 2,600,000 円（内訳：直接経費 2,000,000 円・間接経費 600,000 円）
※一部基金分のみ記入【補助事業に要する経費（H24）： 円（内訳：直接経費 円・間接経費 円）】
研究種目： 基盤研究(A) 研究課題名： ○○に関する研究 研究期間 24 年度 ～ 27 年度

当初計画及び変更後の計画		当初の研究計画	
＜当初計画＞ H24.4 事前準備 H24.5 △△△△での調査打合せ H24.6 機材の調達と調整 H24.7 ↓ H24.8 △△△△での調査打合せ H24.9 現地調査の開始 H24.10 ↓ H24.11 ↓ H24.12 ↓ H25.1 ↓ H25.2 研究成果とりまとめ H25.3 ↓	＜変更後の計画＞ H24.4 事前準備 H24.5 △△△△での調査打合せ H24.6 機材の調達と調整 H24.7 ↓ H24.8 ↓ H24.9 ↓ H24.10 ↓ H24.11 ↓ H24.12 ↓ H25.1 ↓ H25.2 △△△△での調査打合せ H25.3 現地調査の開始 H25.4 ↓ H25.5 ↓ H25.6 ↓ H25.7 ↓ H25.8 研究成果とりまとめ H25.9 ↓ H25.10 H25.11 H25.12 H26.1 H26.2 H26.3	(研究概要) ※＜当初計画＞に即して、最終的に平成25年3月までに達成予定であった計画を時系列で記述すること。 平成24年8月までに、 △△△△において、海外研究協力者と調査打合せを実施し、 平成25年3月までに、 現地調査を行い、研究成果の取りまとめを行う 予定であった。	
		事 由	
		記号等 ③エ 気象の関係（その他）	
		【変更後の計画の類型】	(補足説明) 平成24年7月～10月に□□で発生した洪水により、現地調査を行うことができなくなり、日程を再調整することとなった。
繰越事由の発生した時期	補助事業の完了時期	調査時期等の延期・変更	
平成24年8月	平成25年9月末（6ヶ月延長）		